



◆ ◆ ◆ ◆ ◆

●勤務医に関する話題や投稿などで構成するコーナーです。勤務医生活の雑感、あるいは意見をこの欄にお寄せください。

●投稿要領…700字程度、名古屋市昭和区妙見町19-2、愛知県保険医協会「勤務医コーナー」係まで。薄謝進呈致します。

## 保団連勤務医交流会に参加して

一宮市 平井長年

六月六日、北海道から沖縄まで十九県の協会から医師・歯科医師三十五人、事務局員十九人がWebで集まった。自宅からが多く小生も自宅からしたが、愛知の皆さんは昭和区妙見町

の事務所へ集まった。その名簿をみて公共交通機関を乗り換え往復三時間かけて出向くか躊躇した。集団意識を育むには全国は無理でも愛知だけでも集まる意義は大きいと思ったが。サラ

リーマン川柳で「会社へは来るなど上司、行けと妻」と秀逸な作品がある。朝から晩まで自宅のリビングを占領されたら家族は大変だ。さて国は公的公立病院四百三十六の再編・統合の政策を未だ撤回していない。コロナ病床が逼迫している中、感染症病床の八〇%を自治体病院や公的病院が占めてきたにもかかわらずだ。国は今後コロナ患者に対応しない医療機関の支援

は縮小、廃止を示唆している。また急性期病床の削減を二〇二二年度に一万床を目指し一〇%以上削減した病院への財政支援を消費税より賄う計画である。消費税は全額、社会保障の為に使うのでは無かったか。さらに今でさえ日本の医師数はOECD平均より十三万人も少なく四〇%は過労死ラインをオーバーしているにも関わらず、二〇二三年度より医学部の入学定数の削減を計画している。

ますます人を出せない、急に医師数を増やすのは困難なため、むしろ集約化されるべきだとの意見が出た。愛知協会からは掛川、袋井市民病院を統廃合した中東遠総合医療センターが良好な結果を得、全て悪い、全て良いとは言えないと意見が出た。

一人一人の医師は少人数より集約化された中で勤務にメリハリをつけ働きたい。しかし個々の病院は少人数でも例え一人でもそれぞれの科の専門医を確保したい。再編・統合の政策は、コロナ感染症の下で急性期病床一万床の削減を押し進める中で、行う所に問題があると思う。